



## 第34回 松代地区人権を尊重し合う市民集会開催

【日時】9月6日(土) 午後2時から(受付開始:午後1時30分)

【会場】松代文化ホール [入場無料]

【内容】①学習発表 発表題 「1年生の日頃の学習の様子から」

発表者 豊栄小学校1年生のみなさん

②講演 演題 『歩』が『と金』に成る経営  
～多様な人材を受け入れて～

講師 湯本 晴彦氏(春蘭の宿 さかえや 社長)



【定員】一般の方 280名(予定)

■申込先/松代地区住民自治協議会事務局 電話:278-1885

平日:午前9時~午後5時

■申込締切/9月5日(金)

※空席がある場合は当日受付を行います。(午後1時30分から)

※地区人権委員・ご関係の皆さまへは別途、参加通知を郵送(8月7日付)  
していますのでご確認ください。

【主催】松代地区住民自治協議会松代地区人権同和教育促進協議会

【後援】長野市 長野市教育委員会



## 日赤活動資金募集に関する報告と御礼



このたびの令和7年度日赤活動資金の募集にご協力をいただき、心から感謝申し上げます。松代地区では、総額1,559,500円となりました。

皆さまからいただいた活動資金につきましては、災害時の医療支援や救援物資の配布など、日本赤十字社のさまざまな事業に使われます。役員の皆様におかれましては、活動資金のとりまとめについてご尽力いただき大変お世話になりました。紙面を借りて感謝申し上げます。(日赤長野市地区松代分区)

# 松代の泉水・泉水路を守る会 第3回研究会「松代城下町の形成と泉水」

## 松代文化施設等管理事務所 降幡浩樹所長による講演会

——『庭園都市・松代』のまちづくり(8)——

去る6月21日(土)降幡浩樹所長を講師にお迎えし、第3回研究会を開催いたしました。永禄3年(1560年)頃武田信玄が海津城を築き、その後元和8年(1622年)真田氏十万石の居城となり250年間、当初に計画された城下町の範囲は惣構を越え南方へ武家屋敷地を拡大し、それに伴い上水の需要が拡大していきました。

人の暮らしに欠かせない上水について、江戸時代の絵図や古文書などを踏まえた講演でした。

### 上水の水源は関屋川と考えられる

大英寺の南方、関屋川の南側に「堤」池が築造され、川の水を浄水池(沈殿池)としての「堤」に導き入れる。ここから関屋川の北へ渡し大英寺の南裏にさらに二つの池がある。関屋川は大英寺の西で分流し、北へ流下する川と西北西へ流れる川との二本になる。

水道は、浄化池から北国往還の紺屋町東端で二手に分岐し、一方は北流して殿町に入り、他の一本は紺屋町の半ばまで西進し、ここから北転して関屋川を渡り殿町に入る。

そのあと殿町を南北に通る道二筋に分岐し、道沿いの重臣屋敷に水を届ける。上水道の総延長は1217間(2212.5m)であった。

※出所：寛延3年(1750年)城下水道絵図(『松代真田家文書』国文学研究資料館)



### 用水の設置目的などについて

- ・用水は「御泉水」として城内に引き入れるために設置された。御泉水が濁水の時各種の用水へ引く前で分水し泉水へ入れる。
- ・「呑水用」という記述から、松代の「用水」は飲料が目的であった。
- ・各屋敷内を流れた未使用の水は、元の上水へ入れるため、塵芥や洗濯物などを水に入れないよう水質の保全に努めた。

※出所：関係史料から用水の設置目的など指摘

(松代の泉水・泉水路を守る会) 江戸時代中期(関屋川移転前)の松代城下町絵図

さあ！みんなで行こう！

### ～松代地区シニア連合会研修旅行へのお誘い～

南信州・昼神温泉「湯多利の里伊那華」と

「終戦80周年満蒙開拓平和祈念館」への旅

シニアクラブに加入していない方も参加できます。(別途シニアクラブ入会金1,000円が必要)皆さまお誘いあわせの上ご参加ください！

期 日：10月27日(月)～10月28日(火)

※詳細は後日お伝えします

会 費：13,000円(予定 高速代・見学科等含む)

申込先：松代地区シニア連合会 吉池 [電話・FAX 278-3824]

※シニアクラブに加入している方は各地域シニアクラブ会長まで

締切り：9月1日(月)

主 催：松代地区シニア連合会



～編集後記～ 夏野菜は水分補給、栄養補給とともに、体を冷やす効果が期待できると言われていますね。積極的に取り入れ、暑さを乗り切りたいです。

